



# まちのわだい

町内の主なできごとと、頑張っている皆さんの姿をお伝えします！



9/8



忠類保育所ミニ農園収穫祭

## いっぱいとれたよ

忠類保育所で5月に植え付けを行った作物の収穫祭が行われました。

最初に、保育士から野菜について話を聞いた園児達は園庭にある畑に向かい、組ごとに分かれてジャガイモを収穫しました。園児たちは誰がたくさんジャガイモをとれるか競ったりしながら楽しく収穫をしました。



9/4



水槽付消防ポンプ自動車更新

## 安心・安全を守る

幕別町消防団第2分団途別部に配置している水槽付消防ポンプ自動車を更新しました。新車両は7人乗りのオートマチック車で、衝突被害軽減ブレーキ、安全装置付きポンプ操作盤などの装備により活動する団員の安全性や操作性を高めた車両です。9月4日に納車され、団員の操作取扱い訓練を経て運用開始しました。

今後も、町民のみなさんの安全・安心を守るため活躍が期待されます。

8/30



イチャルパ

## 神や祖先に祈りを捧げ

稲土別共同墓地において、幕別2カ所共同墓地慰霊祭(イチャルパ)が執り行われました。当日は、雨の中多くの関係者が列席し、神酒を神にささげ、祭壇前で礼拝を行うなどアイヌ民族の伝統的な儀式により祖先の供養しました。



8/28



忠類中学校職業体験学習

## 「酪農」を学ぶ

忠類中学校の総合的な学習の一環として3年生13名が忠類地区にあるiファームで酪農体験をしました。

岩谷史人さんから指導を受けながら、搾乳や仔牛の哺乳を体験した後、5つの班に分かれ、牛舎の清掃や牛の寝床の準備を行いました。生徒たちは酪農の大変さと楽しさを学びました。



9/14



祝100歳・坂井與作さん

## 100歳おめでとうございます

9月14日、坂井與作さんが100歳を迎え、町長から記念品などが手渡されました。

当日は、贈呈に先立って100歳を記念した手形を色紙に採取し、贈呈式の後は施設職員の笑顔に囲まれ、坂井さんもニコリ。「日本に生まれてよかった。やっぱり日本が一番だよ。」と笑顔で語ってくれた姿が印象的でした。

9/11



(右) (株)幕別パークホテル悠湯館 馬淵代表

(株)幕別パークホテル悠湯館と防災協定締結

## 高台地区の避難所確保へ

4日の(株)丸勝に続き、複合災害に備えた避難所の確保へ向けて、株式会社パークホテル悠湯館と災害時の避難受入に関する協定を結びました。この協定では、災害発生時に同館を避難所として、入浴施設などの開放、食料の提供などに協力いただくものです。

馬淵代表は「半世紀にわたり、町でホテルを運営してきた。今回の協定で少しでも町への恩返しができる」と仰っていました。

9/4



飛田 稔章さんから町へ100万円の寄附

## 町の発展のために活用してほしい

J A道中央会前会長の飛田稔章さんより町へ100万円の寄附がありました。飛田さんは平成17年にJ A道中央会副会長、平成20年からは同会会長を務めるなど、15年に渡り北海道の農業に貢献されました。今回の寄附に関して飛田さんは「幕別のみなさんに応援いただき、今まで仕事をすることができた。町の発展のために是非活用してもらいたい」と仰っていました。

9/4



(右) (株)丸勝 梶原社長

(株)丸勝と防災協定締結

## 十勝ヒルズ駐車場を避難場所へ

町では新型コロナウイルスが流行する中での災害発生時に備え、これまでの倍以上の避難施設の確保が課題となっております。この協定は、災害発生時、避難所での3密を回避するために(株)丸勝が運営する「十勝ヒルズ」の駐車場を車中避難用に開放し、施設の使用や食料の提供などに協力いただくものです。

町長は「先月に続き、町民が安心して避難する場所が増えた」と感謝の言葉を伝えていました。